



## 日本フットサルリーグ Fリーグで活躍

須藤 慎一 さん

(プロフットサルチーム  
デウソン神戸)

当別町でサッカーを始め、昨年から発足した日本フットサルリーグでプロ選手として活躍。北海道初開催となるリーグ戦に出場しました。

チーム内では中盤で攻守に豊富な運動量を求められるポジションの「アラ」を務め試合をコントロールしています。

### プロフットサルリーグ Fリーグの面白さは？

昨年から発足したばかりのプロのフットサルリーグ「Fリーグ」では自分の所属するデウソン神戸を含め全国で8チームがリーグ戦を行っています。

フットサルは屋内で行われるサッカーに似た競技で、1チーム5人で行われるスポーツです。

サッカーと比べて、コート広さや試合時間など、細かいルールの違いがあります。スピード感や選手一人一人の個人技の高さなど、魅力が満載で、海外ではプロスポーツとしてフットサル人気が高い国も数多くあり、プロサッカー選手として活躍している選手の中にはフットサル出身の選手も少なくありません。

ゲームの中では一瞬のプレーで勝負が決まることもあり、目を離せないことが一番の面白さだと思います。

### 故郷の当別、北海道の 人たちへのメッセージ

サッカーに触れたきっかけは、小学校1年生のとき、当別の少年団に入ったことでした。

この少年団からはJリーガーが2人誕生しているように、当別は指導体制や環境などサッカー、フットサルをする上でとても恵まれていると感じます。約2万人の町に2つの少年団と中学生のクラブチームがあることは、非常に珍しいと思いますね。

当別の子どもたちの中から未来のプロ選手がたくさん誕生することを期待しています。

フットサルは日本でのプロスポーツ競技としての歴史は浅く、Fリーグの発展もこれからだと思いますが、競技人口は次第に増えており、これからはもっと多くの人がフットサルに触れることになると思います。

また、子どもたちがサッカーのテクニックを磨くことや、楽しさを感じるためにもフットサルはとても有効だと思います。そのきっかけとして、ぜひ、プロの技術を生で見てもらいたいですね。

今年11月に、北海道では初開催となるFリーグの試合が行われましたが、(11/23、24 札幌) 今後は出身地の当別の皆さんにもっとフットサルの楽しさを知ってもらうためにも、もっと北海道で開催される試合が増えるとうれしいです。これからも多くの皆さんの応援をお願いします。